

平成24年度 重要施策事項

1 施行者収支の改善について

東日本大震災、欧州の金融危機などの影響により景気が低迷する中、売上については、広域発売の拡充等、顧客利便性の向上をはじめとする各種施策を講じてはいるが、本格的な回復傾向が見えるまでには至っていない状況である。また、施行者収益は非常に厳しい状況にあるが、更に収益を圧迫する要因となる消費税の増税について、2010年代半ばまでに段階的に税率を10%まで引き上げる方向で議論が本格化してきており、今後、経営環境はますます厳しくなっていくことが想定される。

このような中、施行者収支の改善に向け、モーターボート競走法改正から5年後の見直しに係る問題及び消費税の増税については、他公営競技との連携を密にとり、適切に対応していくこととする。

また、各施行者はそれぞれ経営改善計画を策定するなど、自らの経営努力などによって収支改善に努めているところであるが、更なる競走事業の効率的な運営に向け、施行者収支の向上に直結する選手処遇、各種負担金の見直し及び従事員処遇の適正化等による開催経費の削減について重点的に取組む。

更に、ルネッサンス・プランにおいて提言されている人材育成のための研修制度の充実、施行者の経営判断に資する情報提供など、間接的に施行者収支の改善につながる事業についても積極的に取組むこととする。

2 来場促進及び売上向上施策について

“お客さま第一宣言”～Action!「動けば変わる」のスローガンのもと、お客さまの視点に立った来場促進及び新規顧客の取り込み、売上向上施策に取り組んでいくため、ボートレース活性化委員会等を通じて関係団体との協議・調整を行うとともに、競走の啓発や新規顧客の獲得のため、テレビ媒体などを活用した全国的な広報・宣伝活動等の振興策について振興センターと協議を行い、推進を図る。

また、ナイトレース・モーニングレース実施に関する諸問題の検討、各場が立案する来場促進事業への支援、外国人観光客誘致の検討、キャッシュレス投票の導入拡大等を積極的に取組むこととする。

3 広域発売の拡充について

発売形態別の売上状況については、本場の売上・入場者の減少傾向に対し、インターネット投票等を含む電話投票、独立型外向発売所の新設による場間場外発売等広域発売の利用が続伸している状況にある。今後とも、既存顧客に対する利便性の提供や新規顧客の獲得のため、広域発売の推進は必要不可欠な施策であるため、これの拡充に向け、下記事項について重点的かつ積極的に推進する。

- (1) 本場・場外発売場における更なる場間場外発売日数の拡大
- (2) 電話投票及びインターネット投票の情報提供と投票ツールの多様化
- (3) 場外発売場・独立型外向発売所の設置推進

4 競走場等の秩序維持対策について

競走場等の秩序を維持し、かつ、競走の公正かつ安全を確保するため、警察庁・都府県警察の協力を得た諸会議等を開催し、自主警備体制を維持するとともに、お客様の安全確保のため災害対策について周知徹底を行う。

警察庁の指導のもと、公営競技場からの暴力団排除のため、他公営競技あるいは競艇保安協会との連携を図り、暴力団情報の共有化を行うことで暴追対策を推進する。

5 臨時従事員の労務対策について

競走場の合理的な経営基盤の確立の観点から臨時従事員の処遇の適正化を図るため、臨時従事員の労働諸条件について調査を行い、施行者に共通して発生する諸問題については、顧問弁護士等の見解を踏まえ施行者に周知する。